③ リそなアセットマネジメント

マーケットレポート

2020年12月11日

りそなアセットマネジメントが作成

Market-eye

12月ECB理事会の注目点

ECBは6月以来の追加緩和を決定、コロナ後も緩和継続をコミット

■金融政策:量的緩和を2022年3月まで延長、正常化着手は2024年以降を示唆

■経済見通し:2021年成長率5.0%→3.9%に下方修正、物価は2023年+1.4%で目標未達の予測

■グローバル金融環境は一段と緩和的に、次の焦点はFRBの資産買い取り策の時間軸に

■既存緩和策を中心に大幅強化

【ECB理事会声明文】

1. 量的緩和:パンデミック緊急購入プログラム (PEPP)の購入枠を現行から5000億ユーロ増額し、1兆 8500億ユーロに。少なくとも2022年3月末までの購入継続(従来は2021年6月末)、2023年末まで満期償還金の再投資継続(従来は2022年12月末)を決定。

2. 政策金利: 「2%弱の物価目標」にしっかりと見通しが収斂していくまで現行、或いは、それ以下に金利を据え置くとするフォワードガイダンスを維持。

【ラガルド ECB総裁記者会見】

1.物価見通し:足元の物価水準を"失望的に低い"と表現。経済見通しの内、インフレ見通しは2023年も物価目標+2%未達の+1.4%と金融緩和策の長期化を示唆。

2. 財政政策: 迅速で、力強く、一様なEU加盟国の景気回復と潜在成長力向上に資する欧州復興基金を遅滞なく運用可能とすることの重要性を強調。

■ECBは金融緩和を長期コミット、次の焦点はFOMCに

今回の決定により、ECBは量的緩和と現行政策金利 の据え置きを少なくとも2023年末まで継続することを 強く示唆しました。ポルガル10年国債利回りがマイナ スに転じるなど欧州金利の低下が一段と進んでおり(図 表2)、これは米国債利回りの押し下げ要因となります。 来週のFOMCでは、資産買い取り策の形式が見直さ れる見通しです。経済指標と紐づけるガイダンス付与 など、時間軸効果を意図した内容となれば、欧米金融 当局が揃って、量的・質的緩和を長期間コミットする 形となります。極めて緩和的なグローバル金融環境が 一段と強化されるか、来週のFOMCが注目されます。 他方、今回のECBの決定には、EUの財政政策を促す 狙いもありました。前回6月の追加緩和後、EUは『欧 州復興基金設立』の歴史的合意にこぎつけています。 今回も同様に、ECB理事会直後の欧州首脳会議で同基 金とEU次期中期予算案の合意に至りました。ECBの狙 い通り、金融・財政一体の環境が整った形です。

運用戦略部 投資戦略グループ 岸 平祐

図表1:ECB総資産残高と政策金利



図表2:米・ユーロ圏10年国債利回り



〈用語説明〉

- *ECB ··· 欧州中央銀行 (European Central Bank)
- *FRB ··· 米連邦準備制度理事会(Federal Reserve Board)
- *FOMC ··· 米連邦公開市場委員会(Federal Open Market Committee)

〈本資料に関するご留意事項〉

本資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。

投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」 および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。